

1. 分科会の背景と目的

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030 アジェンダ」の中核文書である「持続可能な開発のための目標」のことであり、我が国の地方自治体における諸問題解決に貢献し、地方の持続可能な開発、すなわち地方創生に資するものといえます。

「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」とは、我が国における SDGs の国内実施を促進し、地方創生につなげることを目的に、地方自治体、企業、NPO、大学など官民連携の場として設置された交流・マッチングプラットフォームです。その中で、地方創生に資する具体的な事業の創出やその事業を進めるために官民連携を促進することを目的とする「分科会」という組織が30件(2019年9月18日現在)活動しています。

PMI 日本支部は昨年来当プラットフォームに参画し、複数の分科会に参加して事例調査や研究活動を行ってきましたが、多くの団体(自治体、企業、NPOなど)で SDGs への取り組みを始めても効果的な推進が来ていない状況であることが分かりました。SDGs の目指す社会課題の解決には、誰のために、どのような価値を提供すべきか、初めから定義してかかることは難しいため、論理的に事業計画を策定しても必ずしも成功しないことがあります。そこで仮説検証を繰り返しながら段階的に顧客ターゲットとソリューションを確定していくリーンスタートアップの手法を活用すべく、「SDGs スタートアップ研究分科会」が発足いたしました。

2. 第2回分科会実施報告

開催日時：2019年12月20日(金)14時00分～17時10分

会場：PMI 日本支部セミナールーム(水天宮前)

当日の概況：

SDGs スタートアップ研究の第2回分科会が、10月25日開催の第1回分科会に続き開催されました。アジェンダは以下の通り。

1. イントロダクション：チェックイン(自己紹介等)、前回のおさらい等
2. ワークショップ①：分科会自体のリーンキャンパスのアップデート
3. 休息
4. ワークショップ②：SDGs 適用モデルのロジックモデル作成
5. 宿題の説明とクロージング

当日は13団体17名にご参加いただきました。

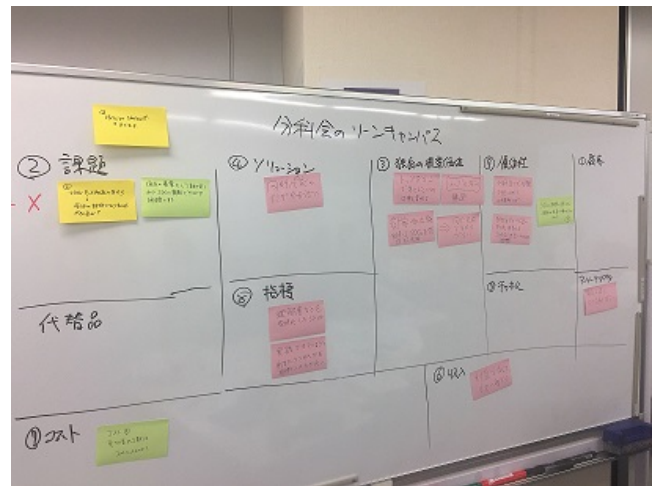
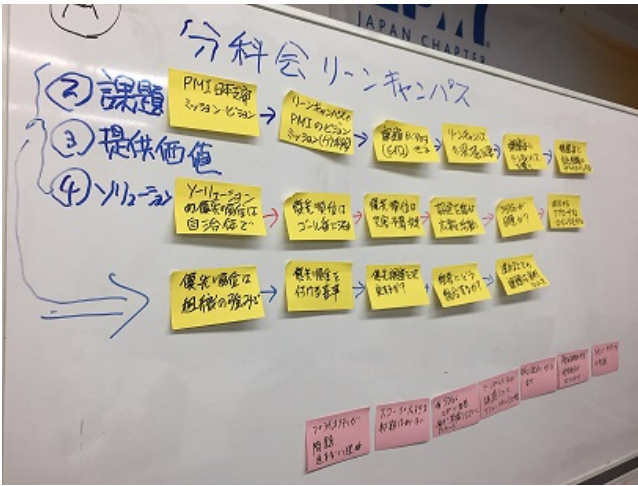
前回の第1回分科会(キックオフ)では、同じ団体メンバーがまとまらないように各テーブルに分かれていただきましたが、今回は次の4テーマごとに団体単位で関連するテーブルについていただきました。

- ・Aテーブル：【災害対策】小河川の洪水予測
- ・Bテーブル：【地方創生】究極の快適田舎生活
- ・Cテーブル：【自治体施策】SDGs の若年層への普及
- ・Dテーブル：【人材/働き方】シニアの働きがい支援

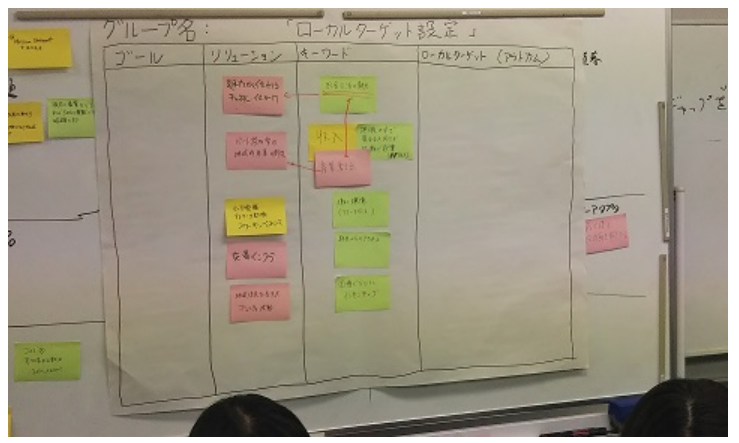
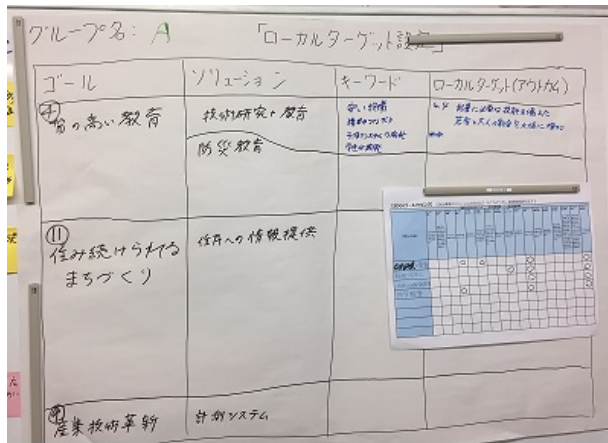
事業会社・自治体・NPO・学校と様々なバックボーンを持つ方々にご参加いただき、各テーブルでの自己紹介に続き、分科会の進め方と前回のおさらいを行いました。



ワークショップ①では、当分科会の活動自体も一つのソーシャルスタートアップであることから、試行錯誤の中で参加団体の皆様からのフィードバックを受けてカイゼンの繰り返しで創りあげていく必要がある。そこで、現在の分科会リーンキャンパスについて、参加者による改善点の洗い出しとそれを受けたアップデートについて議論し、リーンキャンパスのブラッシュアップを体験しました。

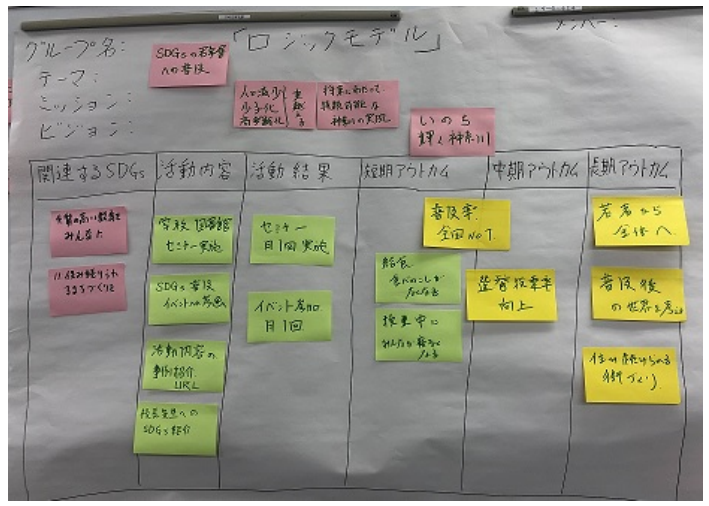
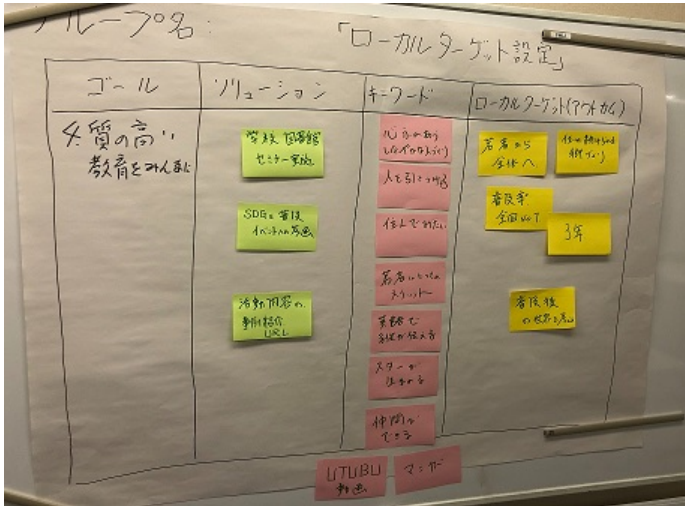


ワークショップ②では、SDGs 達成を目指した「組織の活動計画」「組織の活動評価」手法の一つである「ロジックモデル」の概念とその作成手順を学ぶことを目的に、各団体で前回の宿題として作成いただいたリーンキャンパスから選ばれた上記4テーマについて、ロジックモデルの作成を行いました。



[SDGsゴールマッピング] SDGs事業のソリューションをSDGsゴールにマッピングし、影響領域を特定する

ソリューション	SDG 1	SDG 2	SDG 3	SDG 4	SDG 5	SDG 6	SDG 7	SDG 8	SDG 9	SDG 10	SDG 11	SDG 12	SDG 13	SDG 14	SDG 15
① インフラ設備				○											
② デジタル技術				○											
③ 地域内産品を使った新しいビジネスモデル					○										
④ コーキングスペース （スタートアップの 地域産業の創出）									○						
⑤ 交通インフラ											○				
⑥ リスクの低減化													○		



まとめとしては、目的のロジックモデル作成を一通り経験するという点については途中までのグループが出たてしまいましたが、ベースとなるリーンキャンパスの理解を深めることは実施できました。

講義の中では、テーブルごとにテーマとなった事業のロジックモデル作成にトライしましたが「実際に各団体が実践している（しようとしている）事業のリーンキャンパスの精緻化を図り、ロジックモデルを作成すること」を次回までの宿題（提出期限：2020/1/10）として、第2回分科会をクローズいたしました。

3. 今後の活動予定

次回（第3回分科会）は2020年2月21日（金）に開催します。
引き続き参加団体及びPMI日本支部としての活動メンバーを募集しています。
お申込み等に関する詳細は下記のリンク先をご覧ください。

https://www.pmi-japan.org/news/info/2019_09_24_sdgs20190924.php
ご参照・問い合わせ先：PMI日本支部 SDGs担当(sdgs@pmi-japan.net)